

令和7年（2025年）6月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（2日目）

令和7年6月9日（月）

割当時間（答弁を除く）

立憲民主・社民・ニライ	30分
公明党	25分
無所属クラブ	15分
にぬふあぶし那覇	10分

順位	氏名 （会派名）	発言事項	発言要旨
1	多和田 栄子 （立憲民主・社民・ニライ）	1 基地・平和 行政について	（1） 米兵による性暴力事件や飲酒がらみ等による不祥事事件、米軍機からの落下事故など基地あるが故の事件・事故が相次ぎ、許しがたく容認できない 先月も、那覇市安謝において、米兵の飲酒運転で交通事故が発生している。市長の見解を伺う （2） 西田参議院議員の発言、沖縄戦の実相を歪曲し、抗議決議が出ているにもかかわらず未だ撤回しない事や陸上自衛隊第15旅団のホームページに牛島満司令官による「辞世の句」についても、沖縄戦体験者や研究者などから批判が相次ぎ、一旦取り下げられていたにもかかわらず、防衛大臣が平和を願う句だとして再掲載されている。撤回や削除を求めるべきである 市長の見解を伺う
		2 福祉行政について	（1） 本市の認知症対策として、これまでどのような対策が取られてきたか伺う （2） ミマモライド（認知症高齢者への見守り）の概要、取組は、どのようなになっているか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 母子福祉行政について	母子福祉施設「さくら」について (1) 概要と現状について (2) 広域入所について、前回の質問で沖縄県と連携しながら課題を整理していきたいということであった。その後の経過を伺う
		4 那覇エコアイランドについて	一般廃棄物の最終処分場であるゴミ埋立地「那覇エコアイランド」は、令和 14 年度に埋め立て容量が満杯になると聞いているが今後の見通しを伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 令和７年６月９日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	普久原 朝 日 (立憲民主・社民・ニライ)	1 健康行政について	那覇市での危険ドラッグの影響及び動向について伺う
		2 学校行政について	教職員のメンタルヘルスについて、現状の精神疾患による病気休職者数の現状について伺う
		3 人口減少問題について	那覇市の今後の人口動態について、人口減少の主たる理由は何か見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 令和７年６月９日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	清 水 磨 男 (立憲民主・社民・ニライ)	1 ハラスメント 防止について	(1) 那覇市はハラスメント防止条例を制定する 考えがあるのか伺う (2) 多くの現場に結果が波及する、全県的な問 題であると捉え、ハラスメント防止について 質問するが、知念市長は例えば同じく全県的 な問題であるとして辺野古問題への立場を 問われた際に、「市政の及ばない辺野古問題 につきましては、名護市民から負託を受けた 名護市長の考えを尊重する」との見解を繰り 返し示している。それでは、「南城市ハラス メント事案に関する第三者委員会」の報告を 踏まえたハラスメント問題についても、南城 市長の考えを尊重するという見解か伺う
		2 選択的夫婦 別姓について	国政与党である自民党の沖縄県連は、３月３日 の新聞報道によると、夫婦同姓を維持、通称の使用 拡大を進めると通信社のアンケートに回答して いる。その理由として、別姓だと家族の一体感が 薄れるとし、通称使用で十分に対応できると回答 している。衆議院沖縄県第１区で立候補された自 民党議員の首長応援団に名を連ねる知念市長、古 謝副市長については、同様の考えであるのか伺う
		3 G W 2050 P R O J E C T S について	(1) 成果物や施策については、那覇市をはじめ 税金も利用されている以上、当然ながら誰が 活用してもいいのか伺う (2) 理事の平均年齢を伺う (3) 理事のジェンダーバランスを伺う (4) 企業会の平均年齢を伺う (5) 企業会のジェンダーバランスを伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(6) 那覇市の団体負担金の支出について、財源内訳に「那覇市ふるさとづくり基金繰入金」と明記されているが、那覇市ふるさとづくり寄附金条例の、どのめざすまちの姿を根拠に繰り入れたのか伺う
		4 防衛施設強 靱化について	(1) 那覇市は防衛施設強靱化に賛同するのか伺う (2) 賛同するか否かの、判断の理由を伺う (3) JアラートのJとは何か伺う (4) Jアラートによる避難の呼びかけに対し、遅刻、早退、欠勤などを行えるための、那覇市の体制整備の進捗を伺う (5) 選挙期間中、投票中、開票中などに、Jアラートによる避難が呼びかけられた場合、それとあわせて実際に災害や有事が発生した場合、どのような対応となるのか伺う
		5 密集住宅市 街地について	(1) 今年度以後、具体的な取組の予定を伺う (2) 再生重点地区、面整備検討地区、モデル地区、地域との意見交換について、それぞれの内容説明と数を伺う
		6 なはまぐろ 行政について	(1) PR活動促進及び消費活性化支援について、取組を伺う (2) なはまぐろの定義を伺う (3) 生マグロの水揚げにおける、那覇市の位置付けを伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(4) 「泊漁港将来像構想」について伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、 選挙管理委員長、関係部長

代表質問（２日目） 令和７年６月９日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	幸 地 わかえ (公 明 党)	1 物価高対策について	公明党那覇市議団は、令和7年5月22日、長期化する物価高騰に伴い、市民や企業を支援するよう市長要請を行った。これを踏まえ、本市の物価高対策の取組について、以下問う (1) 重点支援地方交付金の6月枠の活用について (2) 住民生活への支援策について (3) 物価高の影響が深刻な中小企業等への支援強化について
		2 市営住宅アスベスト撤去事業について	今定例会の補正予算で計上されている、「市営住宅アスベスト撤去事業」について、以下問う (1) 本事業の詳細について (2) 代替住宅の確保について (3) 居住者の安全・安心を確保するため、工事中の健康リスクへの配慮について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 令和７年６月９日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	大 城 幼 子 (公 明 党)	1 平和行政について	(1) 日本非核宣言自治体協議会の研修会について 被爆・戦後 80 周年の本年、那覇市戦後 80 年事業の一環として、本市は、同協議会の令和 7 年度研修会を 5 月 29 日に本市で初開催した。「～広げるつなげる 那覇・広島・長崎の想い～」と題し、3 市の市長によるピーストークセッションや、学童疎開船対馬丸に乗船し母と姉を失った照屋恒氏の体験講話などが行われた。翌 30 日には、市内の対馬丸記念館などの視察研修を行ったと伺っている。以下伺う ① 開催地として受け入れた本市の想い、今後の平和行政への決意を伺う ② 被爆・戦後 100 年に向けて、市長は「多様性に寛容な社会の実現」を挙げた。西田昌司参院議員のような歴史認識をもった方々について、沖縄はどう向き合っていたらよいか。市長の考えを伺う (2) 平和教育について 本市のこれまでの取組と評価について伺う (3) 「公明党平和創出ビジョン」について 公明党は、昨年 8 月 6 日に、当時の山口那津男代表が、被爆地・広島で、「平和創出ビジョン」を、戦後 80 年の節目の年である 2025 年に発表することを表明し、策定委員会のもとで議論を重ね、今年 5 月 9 日に発表した。これには、広島、長崎、沖縄の党県本部とも連携し、声を反映させている。同ビジョンに対する市長の見解を伺う
		2 GW2050 PROJECTS について	「ゲートウェイ 2050 プロジェクト」のグランドデザインが 5 月に示された。概要の中から以下伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(1) 概要版の巻末に、グランドデザイン施策一覧が掲載されている。「産業」「ひとづくり」「基盤整備」「環境」「空港・港湾機能」「交通機能」など6つの分野にわたり、34項目の施策が示されている。本市が令和7年度に取り組んでいくもの、今後重点的に取り組んでいくものは何か (2) GW2050 PROJECTSが目指す交通の姿には、基地返還の前から基幹交通を整備していくと記述されている。那覇空港の課題についても、ターミナル移転を待たずに、拡張や整備を行っていく方針となっているのか伺う
		3 学校給食について	本年4月より、本市では中学校が完全無償化され、小学校の半額補助が実施されたことを評価している。秋の国の補正予算を活用して、来年1月から3月まで、小学校の完全無償化を図れないか。見解を伺う
		4 学校体育館への空調整備について	小中学校体育館の空調設備（エアコン）整備について、県内の状況と本市の取組状況を伺う
		5 ひとり親支援について	(1) 本市議会の超党派の女性議員で結成する「ブーゲンビレアの会」で、今年3月に、公益社団法人那覇市母子寡婦福祉会と意見交換し、市長へ次の要請を行った。見解と取組を伺う ① ひとり親高等職業訓練促進給付金について、対象資格に「登録販売者」の追加を図ることについて ② 母子及び父子家庭等医療費助成事業における対象年齢の拡大について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) シングルマザーの運転免許取得支援について本市の見解を伺う 6 産後ケア事業について 委託先拡充について、進捗状況と課題を伺う 7 5歳児健診について 令和6年2月定例会の代表質問で、本市への導入を提案したが、あらためて5歳児検診の意義とその後の検討状況を伺う 8 若者支援について 本市に若者の声を聴く窓口や体制があるか問われた。若者の声を聴く取組として、スマホで声を集め意見をAIで分析し市政に反映させる「なはボイス」の設置を求める声を受けた。見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 令和７年６月９日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	翁 長 俊 英 (公 明 党)	1 書かない窓口について	(1) 国の推進する書かない窓口とはどういうものか (2) 本市における進捗状況及びスケジュールについて (3) 課題とメリット (4) マイナカードの交付率と書かない窓口との関係性について
		2 地域コミュニティについて	(1) 本市においてどのような団体があるか。活動の目的と意義について (2) 本市における老人クラブの活動の概要(活動内容、クラブの数、地域や規模、支援助成金)などについて (3) 助成金が支給される活動で、どの様に適正に活用されているか確認しているか (4) 老人クラブの加入率と課題について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 令和７年６月９日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	宇 根 良 也 (無所属クラブ)	1 物価高騰対策について 2 都市計画道路について	(1) 本市における物価高対策の全体的な評価と課題について これまで本市が実施してきた物価高騰対策の効果は、どのように評価しているのか、また現場や市民の声を踏まえ、今後の課題や方向性をどう捉えているのか伺う (2) 学校給食への影響と支援策について 食材料費や調味料などの物価上昇が、学校給食にどのような影響を及ぼしているかと認識しているのか また、家庭の負担軽減の観点から、小学校給食への無償化など、さらなる支援策を検討しているのか伺う (3) 米の価格高騰への対策 主食である米の価格高騰が市民生活に与える影響についての認識を伺う。また、生活支援の観点から、市内の小売店と連携した割引券の配布や購入補助など、本市として具体的な支援策を講じる考えがあるのか伺う (4) 児童扶養手当受給世帯や非課税世帯への追加支援策について 物価高騰の影響を特に受けやすい児童扶養手当受給世帯や非課税世帯に対し、生活支援や現金給付など、本市として追加の支援策を講じる考えがあるのか伺う 現在進行中の５路線１地区の整備に関して、今年度の予算措置の内容と配分について、また、これらの路線の整備進捗状況や、今後の整備計画に対して、市としてどのように取り組んでいくのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 L R Tの導入計画について	L R Tの（次世代型路面電車）の導入について以下伺う (1) 本市では、持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けてL R Tの導入が検討されてきたが、現時点における計画の進捗状況について伺う (2) 事業を進める上で欠かせない財源の確保や、整備効果について、本市としてどのように考えているのか伺う (3) 既存のバス交通やモノレールとの連携をどのように位置づけ、全体の公共交通ネットワークの中でL R Tをどのように活用していく考えなのか伺う
		4 国際通りなどの環境整備について	(1) 路上喫煙禁止地区における路上喫煙や吸い殻や、ゴミのポイ捨てなどへの対応について伺う (2) 清掃体制の現状と課題について伺う (3) 観光地の美観や快適性を保つための景観整備やマナー啓発の取組、事業者が施設内に喫煙所を設置する場合の補助支援の有無について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 令和７年６月９日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	なかもつ 寛 (無所属クラブ)	1 平和行政について 2 首里城再建について	本年は多くの尊い犠牲を被った太平洋戦争及び沖縄戦の終結から 80 年、昭和 100 年の節目の年である。我が国が軍国主義化して行った昭和初期、米国統治におかれた戦後沖縄の 27 年、その後の沖縄の実情を振り返り私たちは未来に向かって、戦争の悲惨な惨禍を正しい歴史認識のもと後世へ残していく使命を負っている。使命とは戦争で犠牲となられた御霊の平和への思いと戦争の残酷さ醜さと人類の大きな過ちを未来への戒めとして残していく事である ついては、以下質問する (1) 太平洋戦争、沖縄戦について市長の戦争史観、考え方について伺う (2) 西田昌司参議院議員のひめゆりの塔、沖縄戦発言をどのように考えるか伺う (3) 平和の礎に刻銘されている那覇市出身者の数を伺う (4) 歴史的節目の年に那覇市は「戦後 80 年、昭和 100 年那覇市平和宣言」を行うべきと思うが見解を伺う 首里城は 2019 年 10 月 31 日に正殿等 7 棟が消失して、今年で 6 年が経過した。火災直後から再建への機運が広がり、県民をはじめ内外から心温まる多くのご寄付や行政機関による支援、再建に向けた物的、人的支えが紡ぎあいその成果が大きく実って、来年秋には正殿が再建される見通しである ついては、以下質問する (1) 首里城再建への道のりと新しい首里城がどのようなものなのか、首里城周辺の整備を含めた取組について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 文化行政について 4 児童相談所の設置について	(2) 首里城の再建を祝い首里城御庭(うなー)において「沖縄空手・古武道演武大会」を開催すべきと思うが見解を伺う (3) 首里城の下に朽ちている日本軍地下壕整備計画の概要について伺う 沖縄のアイデンティティを大切にしていくための一環として那覇市は「しまくとうば」を奨励してきた。言葉は持続してきた社会、その地域の人々をつなぐ大切なコミュニケーションツールのひとつである。私たちの「しまくとうば」は日本語や英語では表現できない言い回しがある。人コミュニケーションの奥底にある言葉の壁が豊富にある その「しまくとうば」は沖縄の歌・サンシンを通じて私たちの誇れる文化を今日まで継承している については、以下質問する (1) 那覇市内のサンシン教室数とその流派、学んでいる生徒数、琉舞道場、研究所の数とその流派、学んでいる門下生数について伺う (2) 那覇市として沖縄の歌・サンシンを奨励するための取組について伺う 虐待を受ける子どもを児童相談所が強制的に一時保護するために裁判官が要否を判断する制度が6月からスタートしている。これは親の同意がなくても児童相談所が裁判所に一時保護状を請求し強制力を持った形で対応が可能となる この新たな制度導入で児童相談所の事務、実務作業に大きな負担が生じるとの指摘がある については以下、質問する (1) 沖縄県全体及び那覇市の児童虐待相談件数の推移について伺う (2) 児童虐待の内訳と傾向について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 Jリーグ規格サッカー場の整備について	(3) 沖縄県が所管する児童相談所数及びその管轄地域について伺う (4) 児童相談所を運営するための人員数、専門的資格、職員スキルについて伺う (5) 中核市那覇市として児童相談所を設置すべきと思うが見解を伺う 故翁長那覇市長が公約として掲げたJリーグ規格サッカー場の整備について沖縄県は整備計画概要を発表した については、以下質問する (1) 県の発表したJリーグ規格サッカー場整備計画の概要について伺う (2) Jリーグ規格サッカー場が那覇市にどのような効果をもたらすのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 令和７年６月９日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	永 山 盛太郎 (にぬふぁぶし那覇)	1 平和行政について	民間人を巻き添えに多くの尊い命を奪った先の大戦から今年 80 年目となる。県民の 4 人に一人が亡くなった経験から、沖縄県は恒久平和を発信し続けている。しかしながら、今、西田発言のように恒久平和の思いと逆行する認識を示すことに悲しみを覚える。戦争は悲しみ以外何も生まないと思い、二度と戦争をしてはならないと強く願っており、おこさせない行動に取り組んでいるが、そこで伺う (1) 戦後 80 年に関し、本市の恒久平和に向けた取組、発信について伺う (2) 戦後 80 年に関し、学校現場において恒久平和に向けた取組、学習について伺う
		2 保育行政について	保育行政について以下伺う (1) 本年度の待機児童の現状について、過去 3 年分の比較結果を伺う (2) 本年度の兄弟別施設入所状況について、昨年度の比較結果を伺う (3) 保育園・こども園入園に向けた手続きについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長